

北社会ニュースオ59号

2009年10月19日

発行者：鈴木杜夫

“10月6日開催・北陵会に参加して”

仙台在住の二高同窓生の懇談会「北陵会」の運営その他を「北社会」の世話人として拝見・拝聴して参考にさせていただきたいとかねてより思っておりました。別紙の通り北社会ニュース第58号を持参して「北陵会」の40数人の同窓諸兄と楽しい時間を過ごしてまいりました。北社会の皆さんにお知らせしたいこと下記します。

- (1) 会場は江陽グランドホテル、会費は4,000円、丸テーブルが当日は5台。
- (2) 午後6時半に講演開始、約1時間講演終了直後から午後8時半まで交流タイム。
- (3) 午後6時半、定刻になり、世話人が開会を告げて、先ず全員が起立して正面を向き校歌を斉唱しました。「学ぶぞ！」という表現が適切とは思えませんが、多くの同窓と“あなとうと、あなうるはし・・・”二高時代の緊張を彷彿させられ、直後から始まる講演に参加者全員が期待感を抱かされたとは感じました。
- (4) 講演終了直後、世話人から講師に記念品を贈呈、感謝を表現していました。
- (5) 交流タイムではビュッフェスタイルの料理が用意され、ビールも日本酒も飲み放題の印象を私は受けました。会場のホテルにご勤務の同窓の福田瑞久氏（高22回）のなみなみならぬご配慮を感じて、やはり地元と羨ましくなりました。
- (6) 北陵会は北社会が開始された1975年より6年遅れて1981年に創立されたこと、下りの新幹線車中にて知りました。今後、交流の活発化に努力します。
- (7) 当日の講演『現状の県政について』

講師は私と同期の前・宮城県県議会議長の高橋長偉氏。北社会では二年前に『宮城県の富県戦略』“みやぎの豊かな未来のために”というテーマでした。今回私が印象に残ったのは“分権社会の充実”でした。国の補助金はムダと判断されることも多い。特に農政について、地方の声が「官」に届きにくい。地方から国に発信していく。そのためには行政の機構を変えていく。“みやぎ”の日本国内での役割を国から押しつけられるのではなく、自分達“みやぎ”がやる。そしてやりぬく！それが知事と議会の役割と決意を新たに語っていました。

本日、第276回北社会

講師：笹木幸雄氏（高22回） 青和特許法律事務所 商標部 弁理士

テーマ：「知的財産の現状」

来月の北社会 開催日：11月30日（月）

講師：岩淵 勲氏（高15回） 古河スカイ（株）特別顧問

テーマ：「環境ガバナンス」



末尾にお詫び：17~18日の川越祭りでそば打ちにおわれ、よりヒドイ記述になりました。